

<b>科目名：在宅看護論実習</b>		必	2 単位
( Home Care Nursing Practice ) 履修年次/時期：3 年次 通年 授業形態：実習 担当教員：石川徳子（実務経験有）			
学修目的	地域活動を通して、地域における看護の機能と看護職の役割を学ぶ。また、在宅の中で看護を必要としているあらゆる健康のレベルにある対象者やその家族を理解し、現状の生活をふまえた看護援助が実践できる基礎的能力を養う。 DP 1,2,3、および CP 1,2,3,4,5,6 に関連する。 科目 NO. KNP-308		
到達目標	1 在宅療養者と家族の発達段階・課題、健康状態、生活を総合的に把握できる。 2 在宅療養者とその家族に援助の必要性を理解し、訪問看護計画を立案・(一部)実施・評価できる。 3 訪問看護の特殊性や必要な看護技術について理解できる。 4 社会資源の活用、関係機関との連携、協働について理解を深め、保健医療福祉チームの中での看護の役割を考える。 5 看護師としての訪問時の姿勢を理解し行動できる。		
授業概要	地域看護活動を通して地域における看護の機能と看護職の役割を学ぶ。また、在宅生活の中で看護を必要としているあらゆる健康のレベルにある人々やその家族を理解し、現状の生活をふまえた看護技術が実践できる基礎的能力を養う。		
授業計画	(実習場所) よこすか訪問看護ステーション、衣病訪問看護ステーション、聖ヨゼフ訪問看護ステーション 聖隷訪問看護ステーション横須賀、あかしあ訪問看護ステーション、かがやき訪問看護ステーション 在宅看護センター横浜訪問看護リハビリステーション、在宅看護センター訪問看護リハビリステーションかなぶん 咲希看護センター、在宅看護センター横須賀、訪問看護リハビリステーション戸塚 地域包括支援センター（横浜市 4 ヶ所、横須賀市 8 ヶ所） 居宅介護支援事業所（在宅看護センター横浜ケアマネステーション、在宅看護センターケアマネステーションかなぶん） 地域活動支援センター（はまゆう・夢喰虫・つばさの家第 2 作業所）  (実習方法) 実習前ガイダンスで実習方法について説明する。 臨地実習要項「在宅看護論実習」を参照 訪問看護ステーション 5 日間、 地域包括支援センター 1 日間、地域活動支援センター 1 日間		
評価方法	実習内容 実習態度 実習記録 詳細は在宅看護論実習評価表参照 フィードバックは、実習毎に提示する。		
教科書	在宅看護論の講義で使用したもの、臨地実習要項「在宅看護論」「総論」、技術チェックリスト		
参考書	必要時、紹介します。		
オフィス-連絡先	石川徳子 15:00~17:00 3号館3階研究室 ishikawa.tokuko@kdu.ac.jp 不在時はメールでお願いします。		